

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス（証券コード：ー）

【据置】

長期発行体格付	A－
格付の見通し	安定的

■格付事由

- 1973 年に創業した神奈川県と埼玉県で事業展開する社会医療法人。急性期医療を手掛ける海老名総合病院（神奈川県海老名市/479 床）、ケアミックス型の座間総合病院（神奈川県座間市/352 床）、東埼玉総合病院（埼玉県幸手市/189 床）などを構える。2 病院がある神奈川県・県央医療圏での存在感は大きく、2 病院は地域医療連携推進法人さがみメディカルパートナーズの中核を成している。関連法人の静岡メディカルアライアンスは下田メディカルセンター（静岡県下田市/126 床）の指定管理を受託する。
- グループの運営には安定感がある。医療機関の事業環境は非常に厳しいが、当法人は本部機能やエリア別の運営体制を整備し、諸課題には PDCA サイクルの展開を通じて機動的に対処している。主要な展開地域では医療、介護需要が増加しており、それらを的確に捕捉できている。26 年度診療報酬改定を受けて相応の増収効果が見込まれ、キャッシュフローを手堅く確保できると想定される。また、財務体質に問題はない。海老名総合病院本館の老朽化対応が本格化するまで、財務構成は改善基調で推移すると考えられる。以上により、格付を据え置きとし、見通しは安定的とした。
- 26 年度診療報酬改定では、地域で重要な役割を果たす急性期病院などが重点的に評価された。当法人の医療収益にはプラスに寄与しており、特に 3 次救急や地域の急性期医療の中核を担う海老名総合病院の入院単価が大きく上昇している。グループ各拠点の患者、利用者の確保は総じて順調で、27/3 期の業績は前期に比べ改善すると見込まれる。一部拠点で離職者が集中する事例もみられるが、その都度、素早い要因分析と定着促進や採用強化の施策が展開されており、運営への悪影響は抑制することができている。
- 安定した財務基盤が維持されている。近年の純資産比率は 20% 台で推移しており、海老名総合病院・新棟西館の建設で増加した借入金、24/3 期末をピークに減少に転じている。次の大規模な設備投資は海老名総合病院本館の老朽化対応になるとみられる。その実施時期は未定だが、資金支出までに借入金の削減や純資産の蓄積がある程度進むと想定されるほか、財務健全性に配慮した事業計画になると考えられる。そのため、財務基盤が大きく損なわれる懸念は小さい。

（担当）小野 正志・佐藤 洋介

■格付対象

発行体：社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A－	安定的

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2026年8月21日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：殿村 成信
主任格付アナリスト：小野 正志
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2024年10月1日）、「医療機関」（2023年8月1日）として掲載している。
5. 格付関係者：
（発行体・債務者等） 社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル